

小学校 国語

令和7年度
全国学力・学習状況調査

調査問題の内容

問題は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

学習指導要領に示されている各領域に基づき、インタビューにおける発言の目的や理由として適切なものを選択する問題、【ちらし】の文章の構成の工夫について適切なものを選択する問題、言葉の変化について、自分が納得したこととその理由をまとめて書く問題などが出題されている。

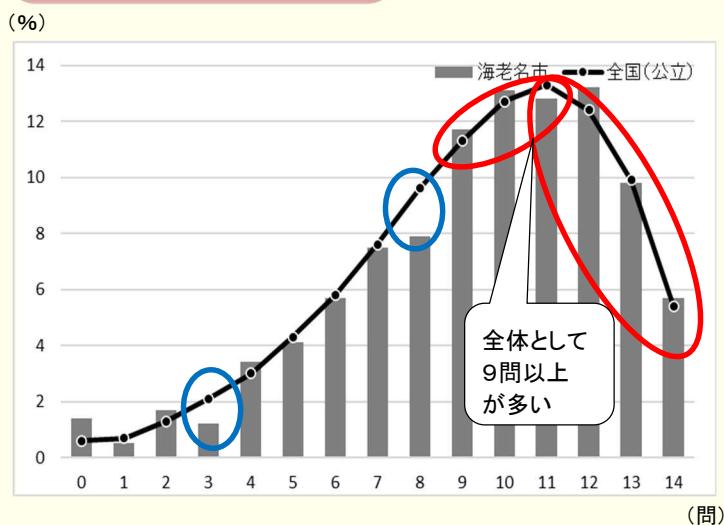
全体の結果

	海老名市	神奈川県（公立）	全国（公立）	全国との比較
平均正答率	66.9%	66.4%	66.8%	0.1
平均正答数	9.4問 /14問	9.3問/14問	9.4問 /14問	0

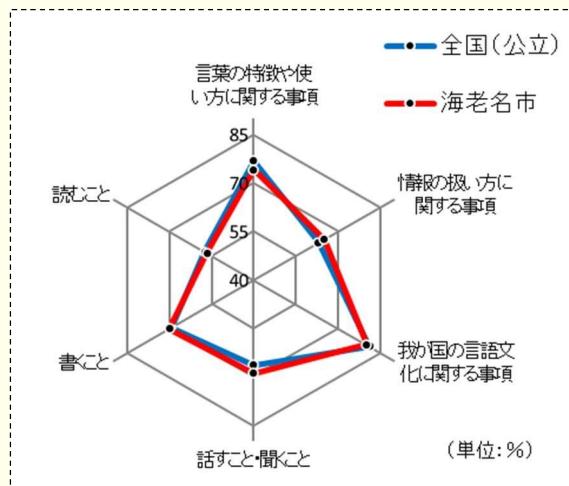
平均正答率…平均正答数を問題数で割った値の百分率

正答数分布グラフ

(横軸:正答数、縦軸:割合)



学習指導要領の領域等の平均正答率



- * 正答率 50%以下(正答数 0～7 問)の児童の割合は、全国と同程度。
- * 正答率 80%以上(12～14 問)の児童の割合は、全国と比較してやや上回っている。

- * 「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」の領域において、全国平均をやや上回っている。
- * 「言葉の特徴や使い方に関する事項」の領域は、全国平均をやや下回っている。

分類・区別集計結果

分類	区分	対象問題数	平均正答率(%)			平均無解答率(%)		
			海老名市	全国(公立)	全国との比較	海老名市	全国(公立)	全国との比較
学習指導要領の領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	2問	74.2	76.9	-2.7	6.5	5.8	0.7
	情報の扱い方に関する事項	1問	65	63.1	1.9	1.1	0.5	0.6
	我が国の言語文化に関する事項	1問	80.1	81.2	-1.1	3.5	1.3	2.2
	話すこと・聞くこと	3問	68.8	66.3	2.5	1.2	0.6	0.6
	書くこと	3問	70	69.5	0.5	2.3	2.2	0.1
	読むこと	4問	56.7	57.5	-0.8	8.9	6.2	2.7
問題形式	選択式	10問	66.1	64.7	1.4	2.5	1.2	1.3
	短答式	2問	75.4	78.5	-3.1	6.5	5.8	0.7
	記述式	2問	57.7	58.8	-1.1	11.2	10.6	0.6

海老名市の結果についての分析

- 平均正答率、平均正答数を見ると、全国とほとんど差がなく、差がおよそ 0.1 ポイントである。
- 平均正答率が全国と比べて上回った問題は、14 問中 7 問である。平均正答率が 80% 以上の問題は、14 問中 2 問(全国は 4 問)である。
- 選択式の設問において全国と比べて平均正答率が高い傾向が見られる。
- 無解答率が全国平均よりも高いのは 14 問中 12 問である。

成果

- 目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することはできている。
- 話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめることはできている。

課題

- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。
- 時間的な順序などを考えながら、内容の大体を捉えることに課題がある。
- 自分の考えをもち、その根拠となる情報を複数の資料の中から言葉や文を取り上げて、文章で説明することに課題がある。

指導の改善に向けて

◆文や文章の中で、漢字を正しく使えるように

- 文や文章の中で正しく漢字を使う習慣を身につけられるよう、意図的に活用する場面を設けることや同音異義語から文章に合う漢字を選ぶ力を付けていく学習を行う。

◆資料の中から必要な情報を見つけるために

- 資料に書かれている文章の要旨を捉えるために、大事な言葉に印をつけながら読んだり抜き出したりし、必要な情報を得られるような指導の工夫改善を図る。

◆自分の考えをもち、文章等に表現するために

- 対話の中で他者と考えを伝えあったり、自分の経験や知識を結びつけて考えたりし、「なぜそう思ったのか」を言語化する活動を充実させる。
- 書いた文章をお互いに読み合い、様々な文章表現の良さを見つけられるように指導する。